

しずかなる 力満ちゆき ばったとぶ
— 加藤楸邨

久が原地区 管内	人口	男	13,156人
		女	13,507人
		計	26,663人
	世帯		12,228世帯

平成22年9月1日現在

くがはら

発行：地域力推進 久が原地区委員会
編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原4-12-10
TEL (3752) 4271
FAX (3752) 4514
題字：三木兼吉



池上本門寺山門坂の上の両側に江戸時代寄進された一対の灯笼には、本光寺檀家丹波屋さんと安詳寺檀家三木さんと共同での銘が見えております。久ヶ原村の人々は、やはり主に日蓮信者であったと思われまます。

尚、馬込領、六郷領の明白な歴史的解释は未だ定まっていな様です。

久ヶ原村の明治二十二年度の戸数は一三七戸、人口は六七一名となっております。江戸時代は六郷領久ヶ原には領主は九人もおり、更に馬込領久ヶ原に二人、合計二桁の領主が一つの村に居ると言う少々異常な感のする村です。

徳川家が江戸に入る前の戦国時代は関東は、約百年間小田原北条氏の下に有り、比較的

静かで平和であった様です。更に古くは矢口の渡の事件の南北朝の時代、近辺地は色々戦の場となった様です。鎌倉時代は皆様よくご存知の池上氏が鎌倉御家人であり、日蓮宗の熱心な信者です。日蓮聖人様もこの久が原を通って身延山、或いは千葉方面に行かれたと思われまます。今のは、日蓮聖人御命名の諸窪の井戸と聞いております。更に時代を遡りますと、久原小学校、アライプ久が原の敷地から出土している火葬された人骨の壺が有りますが、これは奈良時代の荏原郡の役人のものだそうです。この久が原は昔からずっと人々が暮らしてきた所だと言えます。

(次号へ続く)

歴史と名前の由来 その②
「久が原」「久ヶ原」「久原」
どれが正しいの？
歴史上の史跡が多い町
三木 兼吉 責任

久が原の喜楽会は、昭和四十一年四月に創立、活動を続けて四十三年になります。現在の小川会長は三代目で会として初めての男性です。会場にも恵まれているのではないかと思います。久が原会館を毎週使用させていただき、カラオケや輪踊りと、時間に都合がつく会員が集います。また去年からは、雪谷高校の生徒さんが授業の一環として会を訪れるようになり、若い世代とわずかな時間ですが話

喜楽会と高校生の交流
雪谷生が授業の一環として来訪
黒柳 美恵子

月二回公園清掃をさせていただいているすみれ会です。榎原先生を師として月四回雪谷文化センターで健康体操を行っているグループです。すみれ会が発足して二十八年、会員の平均在籍年数は十八年位です。

すみれ会が公園の清掃を始めたきっかけは、六年位前に雪谷文化センターのテーマ「地域社会への還元」として、センターを利用して各グループで何か出来ることはないかとという提案があったからです。一回で終わることではなく長く続けて私達に出来る事はないか。話し合っているとき松仙さんから児童公園が荒れているとのこと。早速見に行ってみると紙くず、空缶、

地域社会への還元
松仙さくら
児童公園の清掃
安藤 幸子



し合いをしています。その中のある一日の紹介をします。

勉強は学校で学んでいますので、喜楽会では雪谷高校の地元について、少し知っていただきたいと思いい地元の事に詳しい会員の三木清一さんや山野利幸さん等が、三等三角点・力石など久が原西部八幡



タバコの吸殻等が散らかっており、松仙小学校の裏にあり、児童遊具や草花もなく、周りに四季を知らせてくれる木々が植えてある小さな公園です。私達でこの公園をきれいにすることを始めました。すみれ会に入った頃は、中年位でしたが今は老年の域(平均七十歳位)です。結局無理はしないということで清掃日は月二回。皆それぞれに鎌、竹箒、小箒等を持ち草むしり(春から夏は草の成長に追いつけません)。植込みに入り枯葉を集め(ゴミ袋に二、三個)自転車に乗せ自宅まで持ち帰ります。



神社の境内にある物を見て歴史について話しました。

このような機会をいただき、孫の様な生徒さんからパワーをもらい、老人会では過ぎし戦争と、忘れてはならない事を少しでも伝えられたら良いのではないかと考え、今後も交流を続けていきたいと思ひます。

清掃を始めた頃に比べ今の公園は吸殻、空缶、紙くず等も少なくなりまし。いにしておけば利用する方達も協力してくれる。汚れた所には平気で物を投げ捨てても、きちんとしていれば散らかすこともない。これが人間の心理ね。」と話し合っています。清掃の終わったあとの掃目、草を抜いた後の土の色、それを見ながらの一杯のお茶の美味しい事、この気持ち良さは何事にも代えられません。



久が原の避難場所④

道々橋自治会地区

- 一時集合場所
- (1) 東調布公園
- (2) 松仙小学校
- (3) 道々橋八幡神社

大震災が発生したとき、久が原地区の避難場所がどこか皆さんはご存知でしょうか。大田区の防災対策としては多摩川河川敷ガス橋一帯が避難場所として定められています。ただ直接多摩川に避難するのはなく一時集合場所に集まることも決められております。ちなみに道々橋自治会では、東調布公園、松仙小学校、道々橋八幡境内の三ヶ所を決めています。平穩に暮せる現在、万一のときの避難場所を知ることはとても大切なことと思います。しかし急な大災害が発生したときには自分の命を守ることが第一で、避難場所に行くのはその後のことです。



要と思います。大災害のときの避難場所を考えたとき、最も身近な隣近所が一番確かな避難場所なのかも知れません。防災対策として正しい情報と近所付き合いが大事と考

えているところです。(三部金光)

*前号に掲載した記事ですが、内容の一部漏れがありました。お詫びのうえ改めて全文を掲載いたします。

さわやか健康講座⑤

園芸療法で認知症予防

さわやかサポート久が原
TEL 570015861

園芸は、誰もが身近に楽しめる健全なレクリエーションですが、近年「園芸療法」として、医療機関や福祉施設などでも活用されています。最近では、介護予防の効果

が認められ、リハビリの一端として採用する高齢者施設も増えていきます。適度な運動を伴う作業による筋力の低下予防、共同作業による社会性の維持、収穫の喜びや達成感による生きがい作りなど、様々な効果が期待されています。ある研究では、土を混ぜる作業をすることで脳の血流量が増えることが科学的に検証され、園芸が認知症の進行抑制に効果があることが実証されました。また、収穫による達成感や充実感を持つことは、認知症による抑うつ気分

イベント情報

- 久が原福祉園きらら祭
【日時】10月2日(土)
【場所】久が原福祉園
- 久が原地区自治会連合会
トキ・トキ大運動会
【日時】10月3日(日) 9:30~15:00
【場所】久原小学校校庭
(雨天時:同校体育館)
- 雪谷文化センターまつり
【日時】10月9日(土)~10日(日)
【場所】雪谷文化センター
- 久が原地区自治会連合会研修旅行
【日時】11月9日(火)~10日(水)
【場所】五浦温泉(茨城県)
- 久が原南自治会懇親会バス旅行
【日時】11月10日(水)
【場所】都内観光
- 久が原東自治会防災訓練
【日時】11月21日(日) 9:30~
【場所】久原小学校校庭
- 大田区総合防災訓練・基本訓練
久が原地区(久が原西・道々橋自治会合同)
【日時】11月21日(日) 9:30~
【場所】松仙小学校校庭
- 久が原南自治会クラブまつり
【日時】11月28日(日)
【場所】久が原クラブ

◇問合せ先 (3752) 4271
久が原特別出張所



久が原の人シリーズ②④

堀 由美恵さん

耳の聞こえない プロボディーボーダー



久が原にある蕎麦屋「千登世庵」の次女として一九七三年十月に誕生。二歳で両耳の聴力を失い、三歳から補聴器をつ

ける。耳が不自由なため、いじめられることもあったが、母から、強さや話しかけ、自分から声を出すことの大切さを学ぶ。由美恵さんは、足ヒレをつけ腹ばいで波に乗るボディーボードと出会い、差別の無い海が自分の居場所と、夢に向かって頑張り続ける女性です。

プロのボディーボーダーとして、世界ランキング最高位十三位となりましたが、二〇〇九年に引退。「夢と希望を海と私を通して伝えていきたい。」と現在はインストラクターとして活躍されています。また、補聴器会社とスポン



サー契約を結び、講師として耳の不自由な方等に講演を行っています。夢を追い続ける由美恵さん。これからの活動が楽しみです。TBS系列「情熱大陸」他出演。著書「聴こえなくても私は負けない」(角川出版) 他 (三部修一)

昭和の「かたりべ」を募集

記憶を集めて

時代の資料に

昭和の「かたりべ」を募集

「昨年久原小学校から、昭和二十年前後の小学生がどんな遊びをしていたか話をしていただけの方を紹介してほしい」という要望があったんです。それが「かたりべ」募集のきっかけです。」と話すのは、東自治会会長の小原さん。久が原には、現状きちんとした郷土史はありません。昭和二十七年頃作成された「久ヶ原出張所要覧」は残ってい

ますが、今の「生活インフォメーション」的な内容、久が原の人々の暮らしがどうであったかは書かれていません。昭和二十年の終戦を境に、生活体系や学校制度など暮らしは大きく変わりました。それまで農業主体の町であった久が原も経済復興とともに今や住宅地として発展を遂げています。しかしながら、その歴史の変遷を伝えるのは、もはや当時その時代を過ごした人々の記憶しかないのです。「そこで、まずは昭和の時代を知っている方に集まっていただきたいというのが、今



「編集後記」先号は私の発病のため大林さんをはじめとする編集委員に迷惑をかけました。まったく記憶にないのですが、救急車には乗りたくないという大人の駄々をこね、周りの方々に迷惑をおかけしたそうですが、それでもこうして生かされています。普段の行動の大事さと運の強さに感謝です。(小倉敦司)

編集後記

久が原特別出張所 地域情報紙担当 河野

ご連絡先 3752-4271 (平野ゆかり)